

## 参考文献

- Mansinha, L. and D. E. Smylie: The displacement fields of inclined faults, *Bulletin of the Seismological Society of America*, Vol.61, No.5, pp.1433-1440, 1971.
- Okada, Y.: Internal deformation due to shear and tensile faults in a half-space, *Bulletin of the Seismological Society of America*, Vol.82, No.2, pp.1018-1040, 1992.
- Okada, Y.: Surface deformation due to shear and tensile faults in a half-space, *Bull. Seism. Soc. Am.*, Vol.75, pp.1135-1154, 1985.
- Sugawara, D., T. Takahashi and F. Imamura: Sediment transport due to the 2011 Tohoku-oki tsunami at Sendai: Results from numerical modeling, *Marine Geology*, <http://dx.doi.org/10.1016/j.margeo.2014.05.005>, 2014.
- 芦田和男、道上正規: 移動床流れの抵抗と掃流砂量に関する基礎的研究、*土木学会論文集 報告集*、第206号、pp.59-69、1972.
- 池野正明、吉井匠、松山昌史、藤井直樹: 津波実験に基づく浮遊砂巻上量の算定と巻上量式の提案、*土木学会論文集 B2 (海岸工学)*、Vol.65、No.1、pp.506-510、2009.
- 一般社団法人日本応用地質学会: 仙台市若林区荒浜 海岸公園冒険広場 現地調査結果・速報、2011、<http://www.jseg.or.jp/00-main/pdf/kaigan.pdf>、2017年6月26日取得.
- 稲垣賢人、仲座栄三、田中聡、SCHAAB Carolyn: 植生帯・丘・護岸による複合的津波減勢効果に関する研究、*土木学会論文集 B2(海岸工学)*、Vol.73、No.1、pp.1-11、2017.
- 今井健太郎、原田賢治、南幸弘、川口誠史、二宮栄一: 海岸樹木の津波耐力評価手法の高度化、*土木学会論文集 B2(海岸工学)*、Vol.69、No.2、pp.I\_361-I\_365、2013.
- 宇多高明、望月達也、藤田光一、平林桂、佐々木克也、服部敦、藤井政人、深谷涉、平舘治: 洪水流を受けた時の多自然型河岸防御工・粘性土・植生の挙動: 流水に対する安定性・耐侵食性を判断するために、*土木研究所資料*、第3489号、pp.97-214、1997.
- 大平浩之、林晃大、山下啓、今村文彦: 宮城県岩沼市における海岸林を活用した多重防御の津波被害軽減効果、*土木学会論文集 B2(海岸工学)*、Vol.72、No.2、pp.I\_1459-I\_1464、2016.
- 加藤史訓、福濱方哉、藤井裕之、高木利光、児玉敏雄: 堤内地におけるハード対策の津波被害軽減効果、*海岸工学論文集*、第54巻、pp.1346-1350、2007.
- 角田清美: 日本海および東シナ海沿岸の主な海岸砂丘地帯の形成期と固定期について、*The Quaternary Research*、Vol.14、No.4、pp.251-276、1975.
- 環境省自然環境局: 生態系を活用した防災・減災に関する考え方、2016、<http://www.env.go.jp/nature/biodic/eco-drr/pamph01.pdf>、2017年6月26日取得.

警察庁緊急災害警備本部：平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の被害状況と警察措置（2017 年 6 月 9 日発表）、<https://www.npa.go.jp/news/other/earthquake2011/pdf/higaijokyo.pdf>、2017 年 6 月 26 日取得。

国土交通省水管理・国土保全局海岸室、国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室：津波浸水想定の設定の手引き、Ver. 2.00、2012。

国土交通省総合政策局：災害時・緊急時に対応した避難経路等のバリアフリー化と情報提供のあり方に関する調査研究報告書、[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei\\_barrierfree\\_tk\\_000035.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000035.html)、2013、2017 年 6 月取得。

国土交通省総合政策局参事官（社会資本整備）：津波防災地域づくり推進計画作成ガイドライン（平成 28 年版）、41p.、2016。

国土交通省都市局公園緑地・景観課：東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針、2012、[http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10\\_hh\\_000097.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000097.html)、2017 年 6 月 26 日取得。

国土交通省都市局公園緑地・景観課、国土交通省国土技術政策総合研究所防災・メンテナンス基盤研究センター緑化生態研究室：防災公園の計画・設計に関するガイドライン（案）（平成 27 年 9 月改訂版）、国総研資料、第 857 号、2015。

首藤伸夫：防潮林の津波に対する効果と限界、第 32 回海岸工学講演会論文集、pp. 465-469、1985。

独立行政法人森林総合研究所：津波被害軽減機能を考慮した海岸林造成の手引き－海岸林を造成・管理する実務者のために－、2015、[http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/research/research\\_results/documents/3rd-chuukiseika24\\_1.pdf](http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/research/research_results/documents/3rd-chuukiseika24_1.pdf)、2017 年 6 月 26 日取得。

森林保全・管理技術研究会：津波と海岸林に関する調査研究事業（平成 22 年度調査報告書）（オンライン）、<http://www.hozen-ken.jp/menu/2012-01tunami-mokuzi.html>、2012。

瀬尾直樹、原田賢治、金原剛：盛土式津波避難施設『命山』の設計手法の提案－袋井市中新田地区における設計過程の検討－、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol. 72、No. 1、pp. 42-50、2016。

仙台市：仙台市震災復興計画、2012、[http://www.city.sendai.jp/fukko/1202187\\_2757.html](http://www.city.sendai.jp/fukko/1202187_2757.html)、2017 年 6 月 26 日取得。

高橋智幸、首藤伸夫、今村文彦、浅井大輔：掃流砂層・浮遊砂層間の交換砂量を考慮した津波移動床モデルの開発、海岸工学論文集、第 46 巻、pp. 606-610、1999。

高橋智幸、黒川貴博、藤田将孝、島田広昭：津波による土砂移動の粒径依存性に関する水理実験、土木学会論文集 B2(海岸工学)Vol. 67、No. 2、pp. I\_231-I\_235、2011。

常田賢一、秦 吉弥：東日本大震災の津波から学び 粘り強い盛土で減災、理工図書、264p.、2016。

原田賢治、油屋貴子、Latief Hamzah、今村文彦：防潮林の津波に対する減衰効果の検討、

- 海岸工学論文集、第 47 卷、pp. 366-370、2000.
- 原田賢治、今村文彦：防潮林による津波減衰効果の評価と減災のための利用の可能性、海岸工学論文集、第 50 卷、pp. 341-345、2003.
- 原田賢治、河田恵昭：津波減衰効果を目的とした海岸林活用条件の検討、海岸工学論文集、第 52 卷、pp. 276-280、2005.
- 原野崇、浜口耕平、渡邊国広、諏訪義雄、伊藤幸義、細谷治夫：現地の樹木等を含む地盤供試体を用いた水理実験、土木学会論文集 B2 (海岸工学)、Vol. 72、No. 2、pp. I\_1687-I\_1692、2016.
- 浜口耕平、原野崇、諏訪義雄、二階堂竜司、中園大介、原文宏：堤防残存と樹木を取り入れた地形変化計算と陸地残存に関する数値実験、土木学会論文集 B2 (海岸工学)、Vol. 72、No. 2、pp. I\_745-I\_750、2016.
- 東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会：今後における海岸防災林の再生について、2012.
- 福本 紘：日本の海浜地形の地理的特性とその形成環境、地理学評論 Ser. A、Vol. 62、No. 2、pp. 108-128、1989.
- 藤井直樹、池野正明、榊山勉、松山昌史、高尾誠、向原健：津波による港湾内の流況と地形変化に関する実験およびその数値計算、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol. 65、No. 1、pp. 291-295、2009.
- 堀川清司：新編海岸工学、東京大学出版会、1991.
- 本間仁：低溢流堰堤の流量係数 (第二編)、土木学会誌、第 26 卷、第 9 号、pp. 849-862、1940
- 前川俊明、二瓶泰雄、中田遥香：海岸砂丘・盛土による津波減災効果の検討、土木学会論文集 B1 (水工学)、Vol. 69、No. 4、pp. I\_1453-I\_1458、2013.
- 山下啓、菅原大助、高橋智幸、今村文彦、齋藤友一、今任嘉幸、甲斐恭、上原均、加藤季広、中田一人、坂良太郎、西川朝雄：岩手県陸前高田市における 2011 年東北地方太平洋沖地震津波による大規模土砂移動の再現計算、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol. 71、No. 2、pp. I\_499-I\_504、2015.
- 林野庁：東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会第 1 回配布資料 (資料 5)、2011、<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/pdf/siryou5.pdf>、2017 年 6 月 26 日取得.